

進路だより‘一期一会’

～ 高校生活入門講座(オープンスクール)って何? どんなことするの? ～

これから先、よく耳にすることになる‘高校生活入門講座’について、今回は触れることにします。いろいろな言い方があって、‘体験入学’とか、‘オープンスクール’あるいは、‘学校見学’、‘学校説明会’なんていう言い方をすることもあります。それぞれする内容は、大きく差はありませんが、簡単に言うと、高校側からすれば、“学校に来てもらって、どんな学校なのかを見てもらったり、授業を見てもらったり、学校についての説明をすることで、自校をより詳しく知ってもらい、入学してもらえるようにアピールをする“機会ということになります。

逆に、みんなの側からすれば、“普段は行くことも見ることもできない高校に行って、実際は、どんな学校なのか、自分が想像していた学校と同じなのか違うのか、入学したら、どんな勉強をするのか、クラブはどんな感じなのか、通学するとしたら、どのくらい時間がかかるのか、など自分が疑問に思っていることを確かめることができる“機会になるということです。



詳しいことや案内については、今後の進路だよりで、時期を見て掲載しようと思っていますが、“百聞は一見に如かず (Seeing is believing.)” という諺にもあるように、人の話やうわさ話を聞いているだけでは本当の姿が見えてきません。‘高校生活入門講座’が行われるのは、土日だったり、夏休み中だったりすることがほとんどなので、自分の行きたいと思っている学校や、気になっている学校があるのなら、一度見たり、体験したりすることで、真の姿を知った上で、進学先を決めると後悔は少ないかもしれませんね。

まずは、人に頼らず、‘自分で動いてみる’ということが成功への第一歩かもしれませんね。



～ ‘あなたの質問に答えます!’コーナー ～

それではまた、みんなの質問の中からいくつか答えたいと思います。では、始めます。

試験(入試)は、どのように行われるのか。(どこで、どのように、持ち物など)

* 受験場所は、ほとんどがその高校になります。ただ、鈴鹿高校だけは、受験者数が多いため、会場がいくつかに分かれます。ちなみに、嬉野中学校の生徒は、毎年、‘メッセウイング三重’で受験します。受験教科については、それぞれの試験、各学校によって違ってきます。私立高校は、5教科(国語、数学、社会、英語、理科)のマークシート方式が多いです。県立高校の前期選抜は、基本的には、‘面接と作文’ですが、国語、数学、英語の筆記試験を課す学校もあります。県立高校の後期選抜は、三重県全ての学校が、5教科の共通テストになります。さらに、その後、面接をする学校もあります。

次に持ち物ですが、まず必要なのは、‘受験(検)票’‘筆記用具’‘腕時計’ですね。高校には、教室に時計がない所が結構あるので、‘腕時計’はあった方が良いでしょう。ただ、音が鳴る‘腕時計’や‘携帯電話’は、絶対音を鳴らさないようにしましょう。鳴らしてしまったら、大変なことになりますよ。シャーペンは使っても構いませんが、薄い字は、採点者が読めなければ丸にはならないかもしれません。もちろん、‘くせ字’もだめですよ。勉強道具は、持って行っても構いませんが、見る余裕はあるかな?

試験の時間は、45分間で、一つの教科が終わるごとに、教室から廊下に出ることになります。この時に、友達同士で、‘あの問題どうやった’とか、‘あの答え～だったよな’なんてこと言い合っていると不安になってくるので止めましょうね。

高校は、何回受けれる(受験することができる)のですか。

* 私立高校に関しては、私立高校同士で話し合っ、受験日が重ならないようにしているので、受けようと思えばいくつも受けることができます。ただ、受かっても、結局体は一つなので、どこか一校しか行けないですけどね。体力に自信がある人は、そうしてもらってもいいですが、私立高校は、受験料が、ほとんどの学校で、12,000円位ですから、むやみやたらにたくさん受験すれば、それだけお金がかかるし、お家の人の負担になるということは考えておいて下さいね

県立高校は、前期選抜と後期選抜の二回受験することができます。ただ、科によっては、前期選抜で定員の100%を決めてしまう所(松阪工業高校の繊維デザイン科や相可高校食物調理科など)があるので、確認しておきましょう。

また、私立高校や県立高校の受験日と重ならないように、高等専門学校(鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校)の受験日がありますので、これらの学校を受験することもできます。

このように、受けようと思えば何校も受けることは可能ですが、‘数打ちゃ当たる!’みたいな考え方ではなく、本当に自分が行きたい学校、自分のやりたいことができる学校、自分の力に合った学校を選んで受験(検)してほしいと思っています。